

保有個人情報利用停止請求書

国立大学法人筑波大学 殿

(ふりがな)

氏名 _____

住所又は居所

〒 _____ TEL (_____)

個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下この別記様式において「法」という。）第99条第1項の規定により、下記のとおり保有個人情報の利用停止を請求します。

記

利用停止請求に係る保有個人情報の開示を受けた日	年 月 日
開示決定に基づき開示を受けた保有個人情報の名称等	「保有個人情報の開示をする旨の決定について（通知）」の文書番号： 日付： 開示決定に基づき開示を受けた保有個人情報
利用停止請求の趣旨及び理由	(趣旨) <input type="checkbox"/> 法第98条第1項第1号該当 → <input type="checkbox"/> 利用の停止 <input type="checkbox"/> 消去 <input type="checkbox"/> 法第98条第1項第2号該当 → 提供の停止 (理由)

1 開示請求者 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 法定代理人 <input type="checkbox"/> 任意代理人
2 請求者本人確認書類 <input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> 個人番号カード <input type="checkbox"/> 在留カード、特別永住者証明書又はこれらの書類とみなされる外国人登録証明書 <input type="checkbox"/> その他 (_____) ※ 請求書を送付して請求する場合には、加えて住民票の写し等を添付してください。
3 本人の状況等 (法定代理人又は任意代理人が請求する場合にのみ記載してください。) ア 本人の状況 <input type="checkbox"/> 未成年者 (_____ 年 月 日生) <input type="checkbox"/> 成年被後見人 <input type="checkbox"/> 任意代理人委任者 (ふりがな) イ 本人の氏名 _____ ウ 本人の住所又は居所 _____
4 法定代理人が請求する場合、次のいずれかの書類を提出してください。 請求資格確認書類 <input type="checkbox"/> 戸籍謄本 <input type="checkbox"/> 登記事項証明書 <input type="checkbox"/> その他 (_____)
5 任意代理人が請求する場合、次の書類を提出してください。 請求資格確認書類 <input type="checkbox"/> 委任状 <input type="checkbox"/> その他 (_____)

1 「氏名」、「住所又は居所」

本人の氏名及び住所又は居所を記載してください。ここに記載された氏名及び住所又は居所により利用停止決定通知等を行うこととなりますので、正確に記載してください。

また、連絡を行う際に必要となりますので、電話番号も記載してください。

なお、法定代理人（未成年者又は成年被後見人である場合に限り、）又は本人の委任による代理人（任意代理人）による開示請求の場合には、法定代理人又は任意代理人の氏名、住所又は居所及び電話番号を記載してください。

2 「利用停止請求に係る保有個人情報の開示を受けた日」

3①及び②に掲げる保有個人情報の開示の実施を受けた年月日を記載してください。

3 「開示決定に基づき開示を受けた保有個人情報」

「開示決定に基づき開示を受けた保有個人情報」の名称を記載してください。なお、法により保有個人情報の利用停止請求ができるのは、次に掲げるものです。

- ① 開示決定に基づき開示を受けた保有個人情報（法第90条第1項第1号）
- ② 開示決定に係る保有個人情報であって、法第88条第1項の他の法令の規定により開示を受けたもの（法第90条第1項第2号）

4 「利用停止請求の趣旨及び理由」

(1) 利用停止請求の趣旨

- ・ 「法第98条第1項第1号該当」には、保有個人情報が法第18条の規定（利用目的による制限）若しくは法第19条の規定（不適正な利用の禁止）に違反して取り扱われている、又は法第20条の規定（適正な取得）に違反して取得されたものであると考えるときに、にレ点を記入してください。また、「利用の停止」又は「消去」のいずれか該当するにレ点を記入してください。
- ・ 「法第98条第1項第2号該当」には、保有個人情報が法第27条第1項又は第28条の規定（第三者提供の制限）に違反して提供されていると考えるときに、にレ点を記入してください。

(2) 利用停止請求の理由

利用停止請求の理由は、訂正請求の趣旨を裏付ける根拠を明確かつ簡潔に記載してください。なお、本欄に記載しきれない場合には、本欄を参考に別葉に記載し、この請求書に添付して提出してください。

5 利用停止請求の期限について

利用停止請求は、法第98条第3項の規定により、保有個人情報の開示を受けた日から90日以内にしなければならないこととなっています。

6 本人確認書類等

(1) 窓口への来所による利用停止請求の場合

窓口に来所して利用停止請求をする場合は、本人確認のため、運転免許証、個人番号カード（住民基本台帳カード（注）。ただし、個人番号通知カードは不可。）、在留カード又は

特別永住者証明書（これらの書類とみなされる外国人登録証明書）等の住所・氏名が記載されている書類を提示又は提出してください。どのような書類が本人確認書類に当たるのかが分からない場合や本人確認書類の提出ができない場合は、窓口事前に相談してください。

（注）住民基本台帳カードは、その効力を失うか、個人番号カードの交付を受ける時まで個人番号カードとみなされ、引き続き使用可能です。

（２） 送付による利用停止請求の場合

「保有個人情報利用停止請求書」を送付して保有個人情報の利用停止請求をする場合は、（１）の本人確認書類を複写機により複写したものに併せて、住民票の写し（ただし、利用停止請求の日前３０日以内に作成されたものの原本に限ります。）を提出してください。住民票の写しが提出できない場合は、窓口事前に相談してください。

（３） 法定代理人又は任意代理人による利用停止請求の場合

「本人の状況等」欄は、法定代理人又は任意代理人による利用停止請求の場合に記載してください。必要な記載事項は、保有個人情報の本人の状況、氏名、本人の住所又は居所です。

法定代理人が利用停止請求をする場合は、法定代理人自身に係る（１）又は（２）に掲げる書類に併せて、戸籍謄本その他法定代理人であることを証明する書類（ただし、利用停止請求の日前３０日以内に作成されたものの原本に限ります。）を提出してください。

任意代理人が利用停止請求をする場合は、任意代理人自身に係る（１）又は（２）に掲げる書類に併せて、委任状その他その資格を証明する書類（ただし、利用停止請求の日前３０日以内に作成されたものの原本に限ります。）を提出してください。